

# 花どけい



No.99

2022年3月発行  
発行責任者:佐藤律子

— お元気ですか — 理事長 佐藤 律子

この度、ぐるーぷ藤は創立30周年を迎えました。これもひとえに私たちの活動を支えて下さった大勢の皆さまのおかげと深く感謝しております。

「年をとっても病気になっても障がいがあっても自分らしく暮らせる街を創りたい」を理念とし、市民事業として1992年3月に発足しました。自主運営・自主管理、メンバーが自ら運営に責任を持ち自分たちに合った組織づくりを行ってきました。社会状況の変化や公的制度に対応し、地域のニーズに応えるため、「藤らしい」「NPOらしい」発想で知恵を出し合い活動してきました。

私たちの活動を川の流に例えて表現しています。「湧き水がいつしか大河へ」。そして船に例えると、5人の主婦を乗せた手漕ぎボートが多くのメンバーや

ご利用者を乗せて、一番館建設で飛鳥号に、二番館建設でクインメリー号になりました。そして私達がめざすのは、三番館建設によって実現するクインエリザベス号です。

これからも、藤沢の地にこだわり地域福祉の核として地域の安全を支える存在でありたいと願い、メンバー同努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## ぐるーぷ藤 30年のあゆみ

1992年  
3月 任意団体「ワーカーズ・コレクティブ藤」として発足  
5人の主婦により家事介護サービス「たすけあい」の仕組み作りを行う



1999年  
9月 法人格取得「特定非営利活動法人ワーカーズコレクティブ藤」となる  
継続性のある組織として決意を新たにす

2000年  
4月 介護保険事業所として居宅介護支援事業、訪問介護事業を開始  
本来事業と介護保険事業の連動により様々なニーズに応える

2001年  
11月 10周年記念事業として「ボランティアすみれ」発足

2003年  
2月 介護保険通所介護事業として「デイハウス藤の花」開所  
利用者のご家族から敷地と建物を提供していただき週3日からスタート



2005年  
4月 「NPO法人ぐるーぷ藤」と改組  
これまでの活動を継承し、さらにスピーディに継続性のある事業運営を目指す



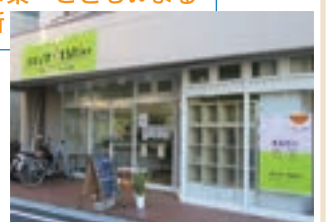
2006年  
7月 介護保険予防通所介護事業所として「デイハウス菜の花」開所  
元ご利用者からお宅を提供していただき2件目のデイサービスを開所

2007年  
10月 ぐるーぷ藤一番館・藤が岡開所  
長年の夢であった、高齢者も子どもも障がいのある人も皆で助け合って暮らす住宅を開所



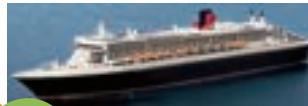
2014年  
10月 地域ささえあいセンター「ヨロシクまるだい」開所  
市民相互の助け合いを目的に、気軽に集える場を作る

2016年  
9月 生活支援事業「こども月まるだい」開所



2017年  
5月 サービス付き高齢者向け住宅「ぐるーぷ藤二番館・柄沢」開所  
地域にお住まいの方に安心の住まいとサービスを提供するとともに、防災拠点としての役割も備えることを目的とする

2016年  
11月 「ぐるーぷ藤二番館・アクア棟」に通所介護「アクアデイ菜の花」開所  
超音波流水プールを利用した関東初のリハビリ型デイサービスを新規OPEN



二番館隣接地に三番館の建設が決定  
「認知症グループホーム」「障がい者グループホーム」「居場所」を兼ね備え、幅広い世代の支えとなる活動を目指す





歳をとっても 病気になっても  
障がいがあっても  
いつまでも自分らしく  
暮らせる街を作りたい

～ぐるーぷ藤の活動を支えてくださる皆さまのおかげで30周年を迎えることができました～

## 認定NPO法人ぐるーぷ藤 創立30周年記念式典



水野学様がこの日の為にデザインしてくださいました。

30周年、おめでとうございます!

3月5日(土)に、藤沢商工会館ミナパークにて創立30周年記念式典を行いました。  
コロナ禍のため、参加人数を会場の半分に抑えましたが、これまでぐるーぷ藤を支えてくださった多くの皆さまが祝福してください、とても温かな式典となりました。  
式典は一部、二部で構成され、一部では来賓の方や歴代理事長の挨拶、30年の歴史を振り返るスタッフ手作りのスライドショーなど、二部では水野学氏による記念講演が行われました。

## 記念講演 水野 学 氏 「ブランディングデザインとぐるーぷ藤」

「ブランディングとは？」  
組織や企業の「大義」や「志」を明確化し、そのもの「らしさ」を導き出し、「世界観」を構築すること

2007年一番館建設の際、デザインのアドバイスをいただき、その後シンボルマークやロゴマーク、パンフレットを作成していただくなど、藤とのお縁のある水野学氏の講演。

くまモン誕生秘話から、神奈川県を走る相鉄線の目を惹くネイビープルーの新車両にまつわる逸話など興味深いお話でした。ブランディングには大義や志が大切というお話を、創立以来のぐるーぷ藤の理念「年をとっても 病気になっても 障がいがあっても いつまでも自分らしく暮らせる街を創りたい」を大事に継承して30年を迎えた藤の活動と重ね合わせて感慨深く聴かせていただきました。

最後に出されたサプライズのロゴには会場から「わあっ」と歓声があがりました。



スタッフ所蔵のくまモン。生みの親にお会いできて感激です!

### ご挨拶いただいた来賓の方々

30年に及び活動に対して温かいエールをいただきました。



藤沢市長  
鈴木恒夫 様



上野トランステック(株)  
代表取締役会長CEO  
横浜商工会議所会頭  
上野 孝 様



認定NPO法人市民福祉  
団体全国協議会  
常務理事・事務局長  
島田慎太郎 様



衆議院議員  
阿部知子 様



神奈川県議会議員  
国松誠 様



(株)横浜銀行 藤沢中央支店  
支店長兼藤沢エリア統括  
山本竹範 様

### 歴代理事長

理事長を退いた後も全員現役で様々な部署で活躍しております。務めた当時の印象を語っていただき、その時々を知ることができました。



1代目  
土屋律子

「利用者の立場に  
立った必要なサービス」。初めて経験する対応に温度差があることに戸惑いました。優しすぎはNG。シャドーワークと言われていた主婦の家事労働価値が評価されました。「たすけあいワーカーズ」のヘルパー時給は1時間720円也。感動しました。



4代目  
小野淑子

印象深いのは、  
初めての通所介護「デイハウス藤の花」開設です。ご利用者から提供された緑豊かな敷地と建物の改装費等に会員有志約60名からの貸付という市民資本を結集できたこと。その後のふじファンド、疑似私募債につながっています。



5代目  
松岡薫

藤の事業が拡大し、  
会員数も増えてきた頃でした。ワーカーズから事業型NPOへと事業形態が変わり、日本初の福祉マンション建設に取り組みようと会員全員で検討しました。一年間かけて何度も何度も話し合い、みんなで藤の進む道を決めたことが今私の誇りです。



3、6代目  
鷲尾公子

お互いさまの助け合いの街づくりから  
始まり、一番館、二番館建設、三番館計画と前に進む中、振り返ればいつも仲間がいた30年でした。幸せでした。



7代目(現理事長)  
佐藤律子

### Profile

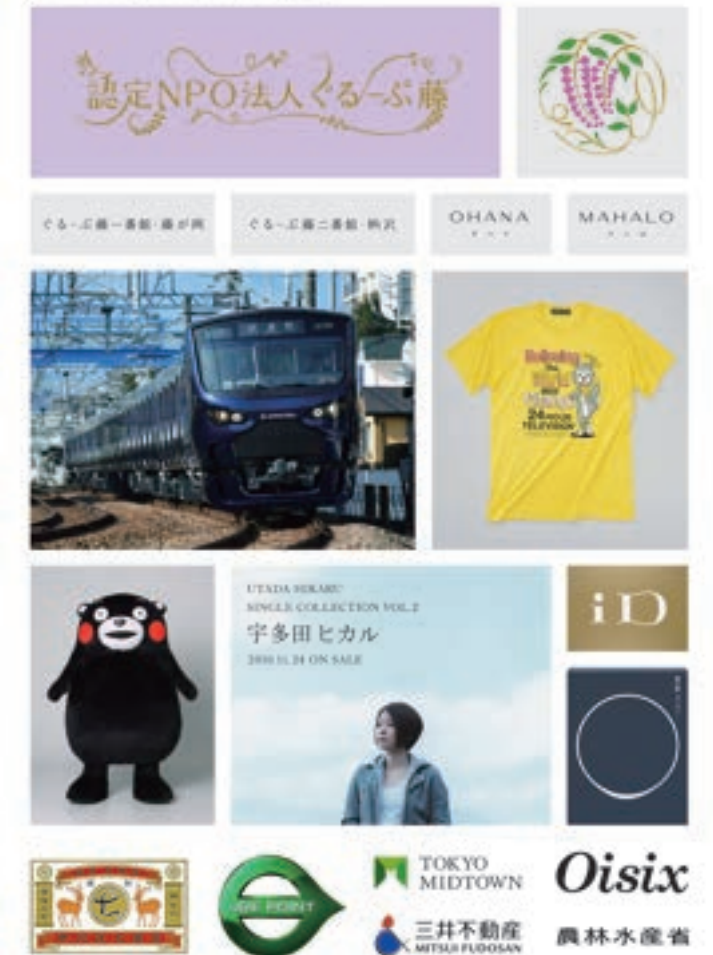
ブランディングデザインと  
ぐるーぷ藤



【日 時】2022年3月5日(土)  
11:15 - 12:00  
【講演者】水野 学

水野学(みずの まなぶ) good design company 代表、クリエイティブディレクター。1972年 東京都生まれ茅ヶ崎育ち。多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。1998年 good design company を設立。ブランドや商品の企画やデザイン、宣伝広告等長期的なブランド戦略までセトータルに手掛ける。主な仕事に、相鉄グループの電車の車両や駅舎、制服など、熊本県公式キャラクター「くまモン」、三井不動産ロゴ、JR東日本「JRE POINT」、中川政七商店、久原本家「茅乃舎」、黒木本店、Oisix、NTTドコモ「iD」ほか。自ら企画運営するブランド「THE」ではクリエイティブディレクションを担当。2012-2016年度 慶應義塾大学環境情報学部(SFC)で特別招聘准教授を務める。The One Show 金賞、London International Awards金賞ほか国内外で受賞歴多数。著書に『グッドデザインカンパニーの仕事』(誠文堂新光社、2008年)、『アイデアの接着力』(朝日新聞出版、2010年)、『アウトプットのスイッチ』(朝日新聞出版、2012年)、『センスは知識からはじまる』(朝日新聞出版、2014年)、『「売る」から、「売れる」へ』水野学のブランディングデザイン講義(誠文堂新光社、2016年)、『いちばん大切なのに誰も教えてくれない段取りの教科書』(ダイヤモンド社、2018年)、『世界観をつくる「感性×知性」の仕事術』(朝日新聞出版、2020年)他。

good design company 制作物





## 1月29日 ボランティアすみれ研修

「高齢者及び障がい者の権利を守る」  
～意思決定支援、不適切支援の防止～



### 講師 綿 祐二 氏

日本福祉大学 福祉経営学部  
医療・福祉マネジメント学科 学部長・教授  
社会福祉法人睦月会 理事長



壮絶な…でも笑いの絶えない先生の自己紹介からはじまり、どんどんお話に引き込まれていきました。介護現場の実際の事例を交えてお話しくださり、とても分かりやすい研修でした。

不適切ケアかどうか悩むケースは、グレーゾーンのままではいけない。黒か白かはっきりさせること。大切なのは、なぜそのケアをするのかの根拠を説明できること。一人だけでなく、チームでコミュニケーションをとりながら納得できるケアを心がけようと思いました。

## 救急救命講習



今年度も藤沢市南消防署の協力を得て救急救命講習を行いました。感染症対策のため、実技では一人一人の人形を使用しました。今後も、緊急時に冷静に対応できるように取り組んでまいります。



## ご寄付のお願い

ぐるーぷ藤の活動に賛同して下さった方々からご寄付をいただきありがとうございます。今後も引き続きご支援をよろしくお願い申し上げます。

2021年度 累計 715,284円 (2022年3月末現在)

## はじめてのスマホ教室 ヨロシク♪まるだい



3月8日(基本操作編) 3月22日(応用編)

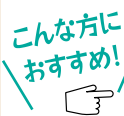
株式会社NTTドコモ様のご協力のもと「はじめてのスマホ教室」を開催。毎回定員いっぱいまで熱気にあふれていました。「アプリは使ったことがあるけれど、欲しくないサービスや相手につながってしまうかと思うと不安で。注意すべき点が分かりました。」と応用編参加者のご感想。自分が興味のある用途に適切に使えるようになりたいですね。今後も継続開催しますので、ヨロシク♪まるだいままでお問合せください。



### メールマガジン

「ぐるーぷ藤通信」へのご登録はお済みですか？

地域の季節の写真やご利用者の様子、イベント案内などぐるーぷ藤の旬な情報を不定期でお届けしています。



- ▶ぐるーぷ藤のサービスをご利用の方、そのご家族
- ▶介護業界に興味のある方
- ▶ぐるーぷ藤で働きたいと思っている方

### 《登録方法》



左のQRコードを読み込むとぐるーぷ藤のサイトの「お問合せ」画面に進みます。必要事項を入力し、お問い合わせ内容の枠に「メールマガ希望」と書いて送信してください。

## 編集後記

多くの方々に支えられ、創立30周年という大きな節目を迎えることができました。コロナ感染拡大防止のために式典の規模が縮小してしまったことは大変残念でしたが、法人の歴史を振り返るスライドショーとスタッフによるナレーションに胸がいっぱいになり、改めてご支援をいただいた皆様に感謝の気持ちが溢れました。次の30年、またワクワクして活動してまいります！

<編集委員> 上原・伊藤布・岩澤・小野・佐藤え・戸田・橋本雅・藤井



# 認定NPO法人ぐるーぷ藤

## ぐるーぷ藤一番館・藤が岡

〒251-0004 藤沢市藤が岡1-4-2  
TEL 0466(26)2001 (代表)  
FAX 0466(26)2002 (一番館共通)

- 訪問介護 ぐるーぷ藤ホームヘルプ
- 看護小規模多機能型居宅介護 ぐるーぷ藤しがらきの湯
- 障がい者グループホーム 藤が岡の家
- 高齢者住宅 ぐるーぷ藤一番館
- レストラン OHANA (オハナ)
- ボランティア活動 ボランティアすみれ

■障がい者グループホーム 本藤沢の家  
〒251-0875 藤沢市本藤沢2-8-6  
ヒルトップ藤沢本町

## ぐるーぷ藤二番館・柄沢

〒251-0003 藤沢市柄沢2-1-16  
TEL/FAX 0466(50)5000

- サービス付き高齢者住宅 ぐるーぷ藤二番館・柄沢

- 地域ささえあいセンター ヨロシク♪まるだい
- 子どもの生活支援事業 こども♪まるだい

〒251-0052 藤沢市藤沢1049  
TEL/FAX 0466(28)4649

## ぐるーぷ藤二番館・アクア棟

〒251-0003 藤沢市柄沢2-1-14  
FAX 0466(50)2110 (アクア棟共通)

- 小規模多機能型居宅介護 ぐるーぷ藤 藤の花 TEL 0466(50)2100
- 通所介護 アクアティ 菜の花 TEL 0466(50)2101
- 居宅介護支援 ぐるーぷ藤 ケアマネジメント
- 障害者相談支援 計画サポート ぐるーぷ藤
- レストラン MAHALO (マハロ) TEL 0466(50)2102

## 問合せ

午前9時～午後6時  
(年中無休)

☎ 0466(26)2001

時間外 090(7015)7062